

## 令和3年度県政モニタリング事業の結果について

多様化する県民の意見を県政に反映させるため、毎年2つ程度の県政テーマが選定（地域づくり推進部）され、県政モニターによる「県民目線・県民感覚」による課題整理や改善に向けた提案を行っていただいています。

令和3年度のテーマのひとつとして選定された図書館の事業について、モニターによる検討が行われ、県に対して提案がありましたので、その概要について報告します。

### 1 令和3年度県政モニタリング事業（図書館分）の概要

- 対象テーマ 「課題解決型」図書館の取組に対する評価及び今後取り組むべき社会的課題
- 県政モニター 5名
- コーディネーター 国立大学法人鳥取大学 地域学部教授 多田憲一郎
- 活動概要
  - ・意見交換〔9月～11月にオンライン形式で3回実施〕、レポート提出〔1～2回〕
  - ・県（地域づくり推進部長）への提案報告〔12月20日〕

### 2 モニターからの提案等の概要

#### <モニターによる評価・モニターが整理した課題>

- ・単に本を借りる場所にとどまらず、様々な人の人生を支える多様なサービスをしている。一方、その取組があまり県民に知られていない。
- ・市町村立図書館等と連携し、県立図書館を県民全体で利用するネットワークが構築されている。
- ・県中西部の居住者は県立図書館を直接利用できず地域格差を感じる。

#### <課題に対する提案（主なもの）>

- ・図書館に対して親近感を持ってもらえるように、イベントの開催情報だけでなくその過程を含めて公式SNSに投稿を行うなど図書館の活動を見える化する。
- ・地域格差を補う取組の強化に向けて、費用対効果や他県の状況などを踏まえ、オンライン上で電子図書を借りることが可能な仕組み（電子図書の導入）を検討する。

#### <県立図書館が今後取り組むべき社会的課題についての提案（主なもの）>

- ・離れた場所にいる人と気軽に交流できるよう図書館にオンライン会議の環境を整備したり、対面での議論ができる場所を整備するなど、交流の場・アイデア創造拠点としての機能を図る。

### 3 今後の予定

提案を踏まえ、今後の事業実施や予算要求等への反映を検討していく。